

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 金沢市立四十万小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒921-8135
 石川県金沢市四十万3丁目186番地

E-mail shijima-e@kanazawa-city.ed.jp

Website _____

児童生徒数 男子 239 名 女子 244 名 合計 483 名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

3. 活動内容

3年生 テーマ「探検！発見！四十万山と竹」

竹の子農家の方の協力で、竹の子掘り体験をしたり、四十万山の竹林の様子を観察したり、四十万山と竹についての話を聞き、竹の子の農家の仕事の苦勞を知ることができた。また、話を聞く中で竹に関心を持ち、手入れの行き届いた竹林とそうでないものとの違いなどについて熱心に観察する様子が見られた。その後、四十万山の竹や竹の子について各自が課題を持ち、疑問に思ったことなどを本でくわしく調べた。調べたことは新聞にまとめ、みんなに広めることができた。



また、自分たちの生活の中で竹の道具がどのように使われているかを調べ、竹の道具が少なくなっている現状を知った。自分たちでも竹を使った道具を作りたいという思いから、地域の名人を招き、竹けん玉、竹とんぼ、起き上がりこぼし、竹スキーなどの作り方を習い、竹の特性について学ぶことができた。いつも通学路の安全を見守って下さっている方々に、竹工作作りの先生になっていただいたので、自分たちの学校生活は地域の方とも関わり合っていることにも気づくことができた。

4年生 テーマ「すごいそ！金沢、大発見！」

金沢の伝統工芸と、金沢の偉人について調べた。伝統工芸は、箔押し体験や水引作りの体験活動を通して学習した。箔押し体験は金沢仏壇商工業協同組合の方に学校に来ていただき、皿や鉛筆に金箔を貼るやり方を教わり一緒に作った。水引作りはあわじ結びの作り方を教えていただいた。どちらも実際に体験することで、金沢の伝統工芸の素晴らしさを知るとともに、他の伝統工芸についても興味をもつきっかけとなり、その後の、各自が興味を持った様々な金沢の伝統工芸について調べ、伝え合う学習につながった。



金沢の偉人については、ふるさと偉人館の学芸員の方に高峰譲吉を中心に話をしていただいた。その後、興味を持った“金沢に関わりのある偉人”について各自が調べ伝え合う学習を通して、努力することの素晴らしさを感じることができた。

5年生 テーマ「体験・発見！わたしたちのふるさと四十万」

米作り体験と四十万山探検の2つを柱に学習を進めてきた。

米作りについては、農家の方に、美味しいお米の作り方を教えていただき、大切なことは、水管理と声かけ（愛情）であることを学んだ。田植えから、脱穀・粃摺りまでを、実際に体験することで、稲を育てることの大変さを体得しながら、一粒一粒の大切さを感じ取ることができた。収穫祭では、自分達で育てたお米を玄米にし、白米と混ぜ、おにぎりパーティーをした。玄米を初めて食べた児童が多く、苦労して育てたからこそ味わえるおいしさを噛みしめていた。大変よい経験になった。

四十万山探検では、森と生きる会の方々にお世話になり、実際に、手入れしてある山と、していない自然のままの山を比べることからスタートした。お話を聞く中で、四十万山から守られ、沢山の恩恵を受けている自分達であることを学ぶことができた。手入れのために伐採した木を有効利用したいという願いから、コルクボード作りをした。さらに、今後の里山の在り方を考えたり、感謝の気持ちを持ったりすることができた。いつも見ている四十万山への見方や思いに変容が見られ、児童にとって学びの多い学習となった。



6年生 テーマ「未来の金沢・未来の世界を創造しよう」

ふるさと金沢の魅力を知る学習では、ボランティアガイドのまいどさんと一緒に、金沢城や長町武家屋敷、近江町市場などを見学した。事前の調べ学習によって、金沢には古くから伝わる伝統的なものがたくさんあることを知っていたが、実際に金沢の町並みを歩き、人に触れたことによって、実感を伴ったものへと学習が深まった。また、伝統的なものをずっと大切に守ってきた金沢の人々の思いにも気づくことができた。

外国の子どもたちと交流するアートマイルプロジェクトでは、まず、大学生とともにワークショップ「世界がもし100人の村だったら」を体験した。世界にはいろいろな人がいて、日本のことだけ見ていては分からない現状があることを知った。そして、自分たちの国との相違点に目を向けることができた。相手国との交流により、異文化に興味を持ったり、日本文化の魅力を再発見したりする姿が見られた。相手国が持つ魅力と日本が持つ魅力を比較したり重ねたりすることを通して、互いの国の文化を大切にしていこう、自分たちが今つながることを通して一緒に平和な未来をつくっていこうという思いをふくらませることができた。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）